

日本農業気象学会 2010 年度第 3 回理事会議事録

日 時：2010 年 9 月 1 日（水）13:00～17:00

場 所：東北農業研究センター 研究 C 棟会議室（盛岡市下厨川字赤平 4）

出席者：岡田、青木、大政、五十嵐、大野、小沢、菅野、平野、松岡、皆川、皆巳、吉本

欠席者：朝倉、北野、蔵田、黒瀬、後藤、小林、菅谷、田中、星、町村

[議事録確認]

1. 2010 年度第 2 回理事会議事録報告（資料 1）

メール会議での一部修正を確認し、承認された。

[報告・連絡事項]

1. 2011 年度大会の進捗状況（資料 2）

九州支部小沢理事より、特別セッションの企画などについて進捗状況が報告された。

2. 理事会経費について

前回の理事会で、理事会出席のための旅費および他学会等との連携業務に係る旅費に充てることに決まったことを受け、平野総務理事が各理事の旅費支出の要望を元に積算した結果、請求分全額を支払い可能の見込みであることがわかった。ただし事業年度決済のため年末 12 月に実費を会計理事に請求した後、銀行振り込みにより支給される

3. 温暖化フォーラム東北の開催

岡田会長より、9 月 2 日開催の温暖化フォーラム東北について、また、当理事会終了後に開催の温暖化フォーラム準備会について案内があった。

4. その他

1) 協賛、後援（資料 3、4）

資料により報告された。菅野理事より農研機構シンポジウムの紹介があった。

2) 学会宣伝用のポスターおよびチラシの作成（資料 5）

青木副会長よりチラシ案が提示され、内容や表示形式等について議論が行われた。意見を元に構成・内容を変更し、ポスター案と併せて再検討することとなった。

3) その他

大野選挙管理委員より、選挙管理委員会報告があり、ほぼスケジュール通りに進行している旨の報告があった。

[審議事項]

1. 農業気象の英文誌化に伴う会則の改正について（資料 7）

農業気象の英文誌化に伴い、雑誌名を **Journal of Agricultural Meteorology**（農業気象）と変更するための会則の修正案が、吉本庶務理事より提案され、了承された。次回総会の決議で改正する。

2. 農業気象の英文誌化と生物と気象の電子媒体化について（資料 8）

松岡編集理事より経過報告および投稿規程の改定案の提示があった。

・特別編集委員の範囲について

Journal of Agricultural Meteorology 特集号の編集等のための特別編集委員として、非会員も認めることとした。投稿規程文案については次回理事会までに検討し再提案する。

・投稿料の変更について

現状と、英文誌と和文誌を分けた場合の収支を比較検討した結果、論文種類、トップオーサー（またはコレスポンディングオーサー）の会員・非会員の別、英文誌・和文誌の別により投稿料を下記のように変え、英文誌の一部投稿料を上げることにより、減益を避けられる見込みであることがわかった。今後、会計理事が養賢堂との契約更新手続きを進める。

英文誌（論文・総説，8 ページ） 会員：40,000 円，非会員：60,000 円

英文誌（短報，4 ページ） 会員：20,000 円，非会員：30,000 円

和文誌（論文・総説・資料） 会員：20,000 円，非会員：30,000 円

和文誌（短報・論説） 会員：10,000 円，非会員：15,000 円

・研究部会特集号について

Journal of Agricultural Meteorology の 67 巻（2011）より、偶数号を研究部会による特集とする方針が示された。2 号はリモートセンシング GIS 研究部会に依頼予定。

・和文作成要領について

和文誌「生物と気象」の和文論文について、英語のアブストラクトとキーワードを必須とした。他論文からの引用の要が生じたときに英語のアブストラクトが必要である場合があること、英語のアブストラクトやキーワードにより **J-Stage** 等での検索にかかりやすいこと等が理由である。

3. 終身会費制度（資料 9）

これまでの理事会で審議されてきた終身会員制度では、権利と義務に関して終身会員と正会員との区別が不明瞭となるため、正会員の権利のまま終身会費を導入する案が平野総務理事より提示され、了承された。会則改定文案を微修正の上、次回総会にかける。

4. JpGU セクション名変更に関連した水関係学協会としての付き合い方について（資料 10）

吉本庶務理事より JpGU セクション名変更に関連した経過報告がなされた。セクション名変更等の議論の場に参加する担当者およびプログラム委員として、従来より団体会員窓口である鳥谷会員に依頼することとした。

5. 研究部会規程の新設（内規から規程へ）（資料 11）

大野庶務理事より、これまでの研究部会運営内規を規程にする案が提示された。研究部会の権利と義務をより具体化し、文言を整理した上で、メール理事会で確定することとなった。

6. 会員名簿の扱いについて

前回理事会からの継続審議の結果、今後は会員名簿の用途ではなく、選挙人名簿（名前のみ）として管理し、会員への配布を中止することとした。現行の名簿では名誉会員の所属支部がわからないため、選挙人名簿として利用しやすいよう整備する。会則の会員の特典から「会員名簿の配布」を削る必要があり、次回の総会で改正案を提出する。

7. 学会運営などについて

次回以降の理事会に持ち越しとなった。

8. 新しい学会賞賞牌の製作について（資料 12）

岡田会長より、新しい賞牌作成候補者の紹介があった。渉外を東京近辺在住でかつ会計の事情に詳しい五十嵐会計理事が担当することになった。

9. 学会ホームページの改善について（資料 6、13）

入会申し込みページや、プライバシーポリシーの場所の問題など、いくつか問題点が指摘された。国立情報学研究所の学協会情報発信サービスの終了に伴い現サーバが 2012 年 3 月 31 日を以て中止となるため、それを機に（期限を待たずに）民間サーバ等への移行を進める。内容・技術面の問題について、今後も改善を進めることとなった。

10. その他

1) 会費の未納について

五十嵐会計理事より、未納者多数のため、支部ごとに督促してほしいとの依頼があった。

2) 総務理事の任期

平野総務理事より、総務理事の任期が他の理事任期と 1 年ずれているために、本来評議

員等に着任すべき人（特に会長指名の場合）が、1年間無任となる可能性があることについて、問題提起がなされた。

3) 次回の全国大会時の理事会（旧体制）および支部長会議

次回の全国大会において、旧体制（現）による理事会はスケジュール的に難しいため行わないこととした。

4) 次回理事会は12月8日で調整中。